

キャラクター名
白鳥 智也(シラトリ トモヤ)

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン オルクス	ワークス	文化部B	カヴァー	カッコイイ部員
オプション		年齢	17歳	性別	男
覚醒	感染	衝動	恐怖	初期侵食率	38 %
出自	安定した家庭	経験	無二の友人	邂逅	好敵手

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	0		1			1	行動値	10
感覚	1		0			1	(非装備時)	10
精神	4		0			4	戦闘移動	15
社会	3	1	2			6	全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC			交渉		2
回避			知覚			意志			調達		1
運転:			芸術:			知識:カッコよさ	4		情報:アカデミア		2
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
100↓:わたしのかんがえたいきょうのかつこよさ	交渉	8r+2		10		侵:13。3体装甲無視。
100↑:	交渉	9r+2		14		
100↑+ディクタトル	交渉	7r+2		24		侵:16

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
Aランク:アタッカー	
学園通の友人	
ラッキーメダル:ホワイト	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
黄金領域	P 感服	N 不安		
部長:	P 連帯感	N 敵愾心		
好敵手:	P 執着	N 脅威		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 14 残り財産P: 11

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセ:ノイマン	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: CL値-Lv								
言葉の刃	1	3	メジャー	視界	単体	<交渉>	-	
効果: 攻+Lvの射攻。装甲無視								
要の陣形	3	3	メジャー	-	5体	シンドローム	-	
効果: Lv回/シナリオ								
領域調整	3	2	メジャー/リア	-	-	<交渉>	-	
効果: 判定+LvD								
塞がれた世界	3	3	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果: 単体以外の時有効。攻+(Lv*3)								
妖精の手	3	4	オート	視界	単体	自動	-	
効果: 判定を10に。Lv回/シナリオ								
ディクタトル	1	3	セットアップ	至近	自身	自動	Dロイス	
効果: ラウンド間、攻+10。放心。Lv回/シナリオ								
完全なる世界	3	5	メジャー	-	-	シンドローム	100%↑	
効果: 判定+(Lv+1)D、攻+(Lv*3)								
未知なる陣形	1	-	常時	至近	自身	自動	リミット	
効果: 《要の陣形》を5体に。								
灰色の脳細胞	1	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 【行動値】+【精神】								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

学園島に生まれ育つ原住民。(オピスとも知り合い)
 オーヴァードと共生していたが、当時は非オーヴァード。
 当時から、オーヴァードの友人らを羨ましい、カッコイイ人たち、と思っていた。
 島にUGNの調査隊員がやって来た際に、島の外のレネゲイドウィルスとの反応により覚醒。
 以降、薔薇色の学園生活を送っていると、高2になったときに、蕪木と意気投合。カッコイイ部を創立する。
 その後やってきたPC2を、強敵と認め、今日もカッコイイを研鑽している。

戦闘イメージは、自らの考えるかつこよさについて伝える。
 が、それは理解のできない単語の羅列で、聞いている側は理解するのが難しく、カッコイイのゲシュタルト崩壊を起こす。
 ノイマンの頭のよさが、別のベクトルに向いてしまっている感じ。なので、彼の語るかつこよさは、聞かされた側は理解できない。

黒髪のロングで、イメージキャラはフィン・マックールのイケてない部分。
 「このわたし、(自らのフルネーム)」で名乗る。

以下、妄想(脳内煮詰め中)
 オーヴァードに覚醒するも、肉体系や感覚面の成長は乏しく、当時自らがイメージしていたかつこいいものには、なれなかった。
 元々ナルシストではあったため、オーヴァードになった自分は、かつこよいものになれた、と思っている。
 けれど、自分になにかが足りないと感じており、それを探するために、色々試している。

オーヴァードはかつこいい、と思っているが、一般人がイケてない、とは思っていない。
 しいていえば、「まわりはどうあれ、自分が一番イケてる」